

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔皮膚科〕

指標名

皮膚手術件数

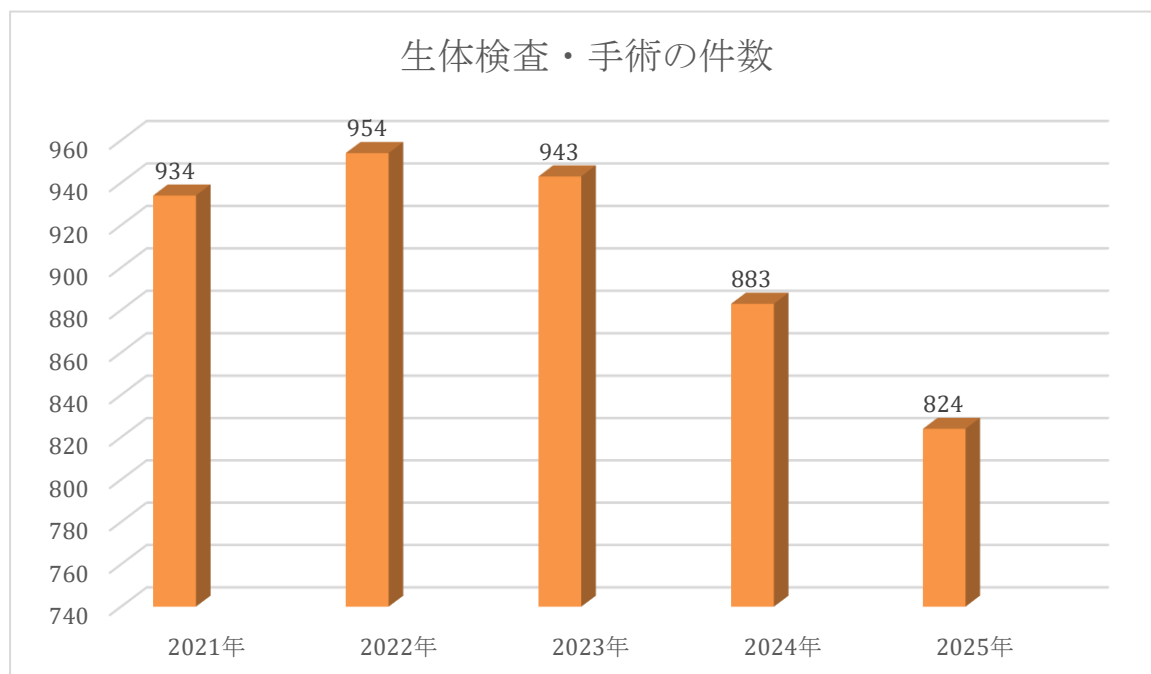
目標・ゴール

手術件数の増加

目標・ゴール達成による効果

患者が希望する手術日を最短で案内することが可能となるため、基幹病院としての役割を果たすことができると考える。

目標・ゴールに対する成果の状況



2020 年度からはコロナ禍の影響を受けつつも、手術件数は 900 件前後で推移してきた。2024 年度は 883 件、2025 年度は 824

件と総件数自体は減少傾向となった。しかしながら、前年度（2024 年度）に課題として掲げていた「入院手術・全身麻酔での手術の更なる受け入れ」については、全身麻酔件数が前年の 8 件から 14 件へと大きく増加した。総件数の減少をカバーする形で、より高度な手術への対応強化という面で確実な成果が得られた。

目標・ゴール達成度

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☐A+ : 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B+ : 目標を少し下回った
- ☒B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。。

目標・ゴールの課題・改善策

2025 年度は、全身麻酔・入院を必要とする手術への対応が増加し、手術医療の質的向上を達成できた一方で、総手術件数の底上げには至らなかった。2026 年度は、増強した全身麻酔手術の受け入れ体制を維持しつつ、外来小手術の効率的なスケジュール管理や手術枠の最適化を図る。地域医療機関との病診連携をさらに緊密にし、軽症から重症まで円滑に受け入れができる体制の構築と、総件数のリカバリーを目指す。